

妖精のおじさんが教えてくれた。仕事の本音と時々、悪口。

WATAOJI



はじめまして、
僕、妖精の
おじさんです。

会社で我慢
やめました。

私のおじさん

1月11日スタート 毎週金曜 11時15分

岡田結実 城田優 小手伸也 戸塚純貴 中川知香 玉田志織・田辺誠一・青木さやか 遠藤憲一
脚本：岸本結佳 モラル 音楽：木村秀彬 主題歌：aiko(アキコ)「ココロエデン」 演出：竹園元 Yuki Saito 小松隆志 制作：テレビ朝日 MMJ

©テレビ朝日

成田出身 Yuki Saito 監督ドラマ「私のおじさん〜WATAOJI〜」絶賛放送中！
思い出が詰まった故郷成田で行われた撮影秘話に迫る。

今、日本は空前の「おっさんブーム」！昨年の超話題作「おっさんずラブ」での活躍も記憶に新しいYuki Saito監督が、只今放送中のドラマ「私のおじさん〜WATAOJI〜」でも、2話・5話・7話の演出を手がけています！第2話（1月18日放送）が撮影されたメインロケ地は、なんと監督の故郷成田市。成田での撮影を終えたばかりの監督へ突撃インタビュー！

泥だらけの成田ロケは、冬の寒さを吹き飛ばす熱気溢れる撮影でしたね！

今回は、限界突破をしていくバラエティ番組収録で大女優がドロドロの田んぼに落ちたキーホルダーを探す、という重要なシーンでの撮影でした。撮影には難しい設定だったんですが、まずは成田で田んぼをやっている親戚の叔父さんに相談してみたんです。そしたら、すぐに色々と動いてくれて、その田んぼの隣に畑があるレンコン農家さんと繋がり、喜んで撮影場所として引き受けて頂きました。



個性豊かな俳優陣とのエピソードなど裏話は、次月号3月号にて！
放送中のドラマ「私のおじさん〜WATAOJI〜」をみんなもチェック！



Yuki Saito プロフィール

1979年生まれ、千葉県成田市出身。成田国際高校卒業後に渡米し、本場ハリウッドで8年間映画を学ぶ。2015年、短編映画『ゴッサム ジャングル パフェ』でショートショートフィルムフェスティバル&アジア史上初となる4度目の「観客賞」を受賞後、世界各国20以上の映画祭で上映。2012年には、被災地のペット達の救援活動をドキュメントした『インスタントペットハウス』がカンヌ国際広告祭「Direct部門」でシルバーとブロンズ、「Design部門」でもブロンズを受賞し、2013年、サンシャイン水族館『ペンギンナビ』がカンヌ国際広告祭「Mobile部門」でシルバーとブロンズを受賞。翌2014年にも同作が「Design部門」でゴールドを受賞し、3年連続のカンヌ受賞を達成するなど、CM監督としても国内外で高い評価を受ける。ドラマでは『ロボサン』(TX)ではVFXアニメーションと実写をコラボさせた新しい試みで話題を集め、第68回日本映画テレビ技術協会VFX部門映像技術賞を受賞。2016年4月クールに放送された「星のセント酒」(TX)が話題を呼ぶ。2016年秋には商業長編デビュー作として川端康成原作「古都」を現代版にアレンジし、松雪泰子(一人二役)を主演に迎え、橋本愛、成海璃子、伊原剛志、奥田瑛二など実力派俳優が出演し、原作の未来を描く映画「古都」で商業長編デビューを果たし、文部科学省特別選定映画に選出される。2018年「おっさんずラブ」(テレビ朝日)第6話放送後、Twitterの世界トレンド1位となり大反響を呼んだ。

Yuki Saito監督に2019年の目標も聞いてきました！

今年の目標は…
■広告作品にも挑戦すること ■ドラマではメインの監督を任せられるようになること ■映画の企画を具体的に前に進めること ■海外を目指し、solo(同じマインドの監督・脚本家仲間5人と昨年立ち上げたクリエイターズレーベル)で形を生み出すこと
全て叶えるのは大変ですが、一歩ずつ成長出来ればと思います。2018年は、ドラマ作品を中心に多くの作品を撮り続け、すごく

撮影当日に、たまたまロケ地にいた地元の農家さんも第2話に特別出演しました。田んぼにロケ隊が現れてリハーサルをしていたら、「ハッ」と驚く農家さんを見かけて。「それ良いね」ということで、急ぎよそのままの感じで出演してもらうことになったんです。これは俳優陣のお芝居にも言うことですが、常に現場で起こることや一瞬のアイデアを大切にしています。

公民館で行われた撮影も、監督はじめスタッフや俳優陣がほんと楽しそうでしたね！

個性的な俳優陣の活き活きた芝居を撮るのが、とても楽しいですね。この公民館も、自分にとっては思い出深い場所です。

公民館での撮影時に、バラエティ番組に出演する大女優の控え室シーンで「歓迎 大女優 霞美良子様」という大きな看板が登場するんですが、実はこれ親父が実際に作ったものなんです。親父がかつて教職員だった頃にやっていた学校の看板作りの経験を活かして、今でも地域の行事の看板を作ったりしていたので、今回頼んでみました。我が街に訪れた女優さんをきちんとおもてなしたいという、地元の人達の温かさが現れていると思います。親父もこれで全国デビューを果たしました(笑)

あと、今回の第2話では、成田市の観光キャラクター「うなりくん」のぬいぐるみもチラッと映り込んだりしているんですが、この第2話をきっかけにいま俳優陣の間に「うなりくん」が秘かなブームです。俳優陣にぬいぐるみをプレゼントしたら、みんなすごく気に入ってくれています。なぜか、お互いに目が合ったら『うな(うなりくんの口ぐせ)』って言う、変な遊びも流行っています(笑)

最後に、故郷成田のみなさんにメッセージを！

今回の撮影では、個性的で魅力溢れるキャスト&スタッフが、私自身の思い出も詰まった田んぼの真ん中に集結して感慨深かったです。

色々かけあってくれた親戚のおじちゃん、レンコン農家さん、突如エキストラ出演してくれたおばさま、見学に来てくれた同級生たち、この日以来俳優陣の間で流行っているうなりくん、公民館のみなさま、成田市観光プロモーション課のみなさま、看板を作ってくれた親父。成田のみなさま、本当にありがとうございます。おかげさまで笑い泣けるシーンが撮れました。

読者のみなさんも是非このドラマを見てください。自分の仕事をもうちょっとだけ頑張ろう！って“1UP”するきっかけになれば嬉しいです。これからも、キャスト&スタッフ一丸となって、頑張ります！

第2話のロケが行われた成田にて、Yuki Saito監督とキャストの皆さん



目標に向かって、初心に振り返り自分をもっと信じたいと思います。勇。言実行するには、引き続き、声をかけてくれる人との縁を大切に、来た球をしっかり打ち返すことを続けていきます。ホームランを狙わずにセーフティバントでも良いから絶対に一塁に行き、成果を出していきます。1人でも多くの人に見てもらえるように、感動してもらえるように、今年も撮り続けます。

これからも監督の動向から目が離せない！最新情報は本誌ロク連載で！